【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和6年3月12日(2024.3.12)

【国際公開番号】WO2022/249473
【出願番号】特願2023-523929(P2023-523929)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/0481(2022.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/0481

【手続補正書】
【提出日】令和3年10月15日(2021.10.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
側部に配置された複数のボタンを有するディスプレイと、前記ディスプレイに表示される画像を制御するコントローラとを備える表示制御装置であって、
前記コントローラは、
ユーザによる第１ボタンの操作を検出した場合、前記操作が行われる前に前記ディスプレイに表示されていた第２ボタンに関連した第２画像から、前記第１ボタンに関連した、前記第２画像とは異なる第１画像に遷移させ、
遷移させる間に演出処理を実行し、
前記演出処理には、前記第１画像を前記第１ボタンの位置の方向から前記ディスプレイの中心へと移動させる登場演出と、前記第２画像を前記ディスプレイから消去させる退場演出と、が含まれ、
前記退場演出の後に前記登場演出が実行される
ことを特徴とする表示制御装置。
【請求項２】
前記コントローラが前記演出処理を実行している間は、常に、前記ユーザが視認可能な状態で前記ボタンが前記ディスプレイに表示される
ことを特徴とする請求項１に記載の表示制御装置。
【請求項３】
前記コントローラは、前記ユーザによる前記ボタンの操作を検出したとき、該当するボタンに関連付けられたアプリケーションを起動し、
前記アプリケーションには、ホームを示す画像を起動するものが含まれ、
前記ホームを示す画像には、所定の機能を起動するためのタイルが含まれ、
前記コントローラは、前記ユーザによる前記タイルの操作を検出したとき、前記登場演出及び前記退場演出を禁止する
ことを特徴とする請求項１または２に記載の表示制御装置。
【請求項４】
前記複数のボタンのうち、隣接したボタンがグルーピングされ、
前記コントローラは、グルーピングされたボタンに関連した画像を、前記グルーピングされたボタンの位置の方向から前記ディスプレイの中心へと移動させる
ことを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載の表示制御装置。
【請求項５】

前記コントローラは、前記グルーピングされたボタンに関連した画像を、前記グルーピングされたボタンの中心位置の方向から前記ディスプレイの中心へと移動させる
ことを特徴とする請求項４に記載の表示制御装置。
【請求項６】
前記演出処理には、前記画像を拡大すること、前記画像を縮小すること、前記画像を濃くすること、前記画像を薄くすること、及び前記画像を移動させること、が含まれる
ことを特徴とする請求項１～５のいずれか１項に記載の表示制御装置。
【請求項７】
前記登場演出に要する時間は、前記退場演出に要する時間よりも長い
ことを特徴とする請求項１～６のいずれか１項に記載の表示制御装置。
【請求項８】
前記退場演出の際に前記画像が移動する方向は、すべての画像で同じである
ことを特徴とする請求項１～７のいずれか１項に記載の表示制御装置。
【請求項９】
前記複数のボタンは、前記ディスプレイの左右の側部のうち、運転席に近い方の側部に配置される
ことを特徴とする請求項１～８のいずれか１項に記載の表示制御装置。
【請求項１０】
前記アプリケーションには、経路案内を起動するものが含まれ、
前記コントローラは、前記経路案内を示す画像を前記ディスプレイに登場させる際に、地図情報に関する画像については前記登場演出を禁止し、前記地図情報を除く情報に関する画像については前記登場演出を行う
ことを特徴とする請求項３に記載の表示制御装置。
【請求項１１】
前記複数のボタンは、仮想的な複数のアイコンである
ことを特徴とする請求項１～１０のいずれか１項に記載の表示制御装置。
【請求項１２】
側部に配置された複数のボタンを有するディスプレイと、前記ディスプレイに表示される画像を制御するコントローラとを備える表示制御装置の表示制御方法であって、
前記コントローラは、
ユーザによる第１ボタンの操作を検出した場合、前記操作が行われる前に前記ディスプレイに表示されていた第２ボタンに関連した第２画像から、前記第１ボタンに関連した、前記第２画像とは異なる第１画像に遷移させ、
遷移させる間に演出処理を実行し、
前記演出処理には、前記第１画像を前記第１ボタンの位置の方向から前記ディスプレイの中心へと移動させる登場演出と、前記第２画像を前記ディスプレイから消去させる退場演出と、が含まれ、
前記退場演出の後に前記登場演出が実行される
ことを特徴とする表示制御方法。